

社会インフラ事業

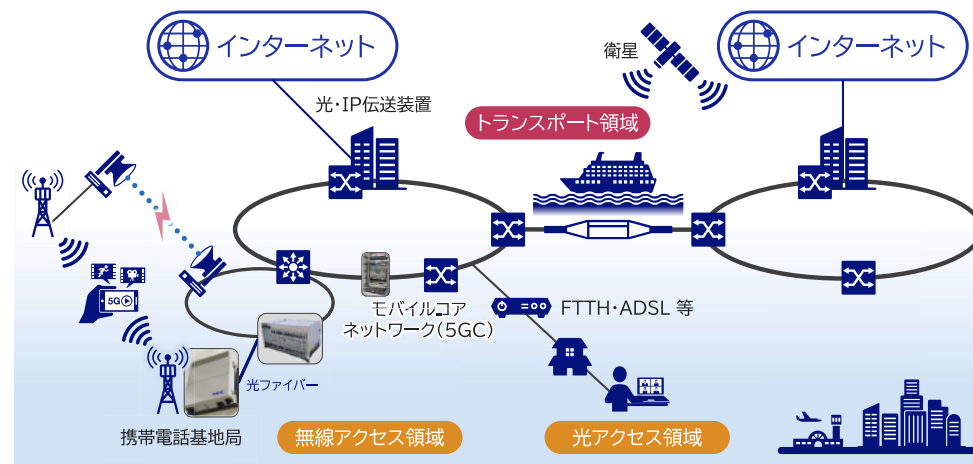
テレコムサービス

事業概要

テレコムサービス事業では、NECのルーツとも言えるネットワークテクノロジーを軸に、人・モノ・コトを豊かにつなげるネットワーク事業を展開しています。主に通信事業者向けにネットワーク機器や運用管理のための基盤システム、運用サービスなどを提供し、デジタル社会の根幹であるネットワークを支えています。テレコムサービスの事業環境として、通信事業者によるネットワークインフラへの投資効率化の影響はあるものの、通信品質向上や新規ビジネス強化を目的とするIT投資需要は堅調に伸びており、NECも注力して取り組んでいます。

強み

- ミッションクリティカルなインフラを構築・運用してきた実績に基づくアセット、ノウハウ
- 幅広い技術と提案力(固定系および移動系ネットワーク技術、OSS／BSSのソフトウェアなど)



事業戦略

■ ソフトウェアシフトの進展

通信業界では、専用ハードウェアから汎用サーバーを活用したソフトウェアへのシフトが進んでいます。NECは仮想化基地局向けのソフトウェアを開発し、商用化を進めています。また、通信事業者が基地局など、ネットワークインフラを設置する際の計画、設計および建設工事など、一連の業務のモダナイゼーションを実現するソリューションも開発しました。本ソリューションの導入により、RANからコアまでモバイルインフラ全体の構築にかかる所要工数を従来と比べて約60%削減することが可能となります。

■ 通信事業者向けITサービス事業の堅調な伸び

通信事業者向けに通信ネットワークの監視・制御・自動化ソリューションを提供する子会社のNetcracker社(米国)では、DX領域の事業が伸びており、NECのテレコムサービス事業の収益性改善に寄与しています。同社が展開する生成AIを使ったBSSは、T-Mobile US社など数社に採用されています。同ソリューションの導入により、営業サポートや顧客マネジメントの向上を実現した結果、ARPU*／売上収益は増加し、業務効率も大幅に改善しています。

* Average Revenue Per User

■ 知財ライセンスビジネスの立ち上げ

通信機器の開発を行う企業に向け、NECが強みとする通信関連技術のライセンス供与を2024年より開始しました。具体的には、無線・光領域を中心としたNECの誇る技術アセットと日本の設計品質というグローバルに通用する価値をマネタイズするビジネスモデルです。すでにアジア地域のパートナーへの技術供与を開始しています。今後もグローバルに拡大していきます。

社会インフラ事業

エアロスペース・ナショナルセキュリティ(ANS)

事業概要

航空宇宙および防衛領域では、主に政府機関向けにICTソリューションを提供しています。レーダ装置、セキュアな通信システム、人工衛星などのハードウェアや、航空機・人工衛星の管制・データ処理を行う地上システムの提供と、これらを支える先進的技術開発を行っています。また、海洋システム事業領域では、海底ケーブルシステムを設計・開発から敷設工事まで一貫して提供しています。NECの防衛事業は、政府防衛予算の倍増により、2023年度以降、急速に拡大しています。NECはICT領域のトップ企業として、これまで培ってきた高い技術力を強みとして契約が増加しています。

強み

- 海底から宇宙まで網羅する高度な光通信技術、世界トップレベルの電波／音波センシング、AI、セキュリティなど長年培ってきた技術力
- 自社での設計・開発から製造、導入、運用・保守まで一貫して提供できる事業体制

事業戦略

■ ANS事業の成長に向けた投資の強化

防衛をはじめとしたANSの事業成長に対応するべく、NECは組織体制と技術基盤の強化に注力しています。優れた人材を獲得するため、2023年度から2025年度までに社内外から約1,200人の増員を計画しています。また、ANSの生産拠点である府中事業場に新棟を建設し、2024年度から稼働しています。

NECは、米ベンチャーキャピタルが運用するファンド「Geodesic Alliance Fund, L.P.」と、英ベンチャーキャピタルが運用するファンド「Seraphim Space Venture Fund II」への出資を行いました。宇宙、海底ケーブル、サイバーセキュリティ、防衛など、安全保障領域における優れた技術力を有するスタートアップをいち早く発掘し、連携することで、将来の事業競争力の強化を図っていきます。

■ 海底ケーブル市場での事業機会の取り込み

データセンターやAIなどの技術革新に伴い、従来の通信事業者に加えグローバルプラットフォーマーによる投資が活発化しており、グローバルなデータトラフィックの増加に対応する国際通信回線として海底ケーブル市場が伸長しています。また、海底ケーブルは、経済安全保障の観点からも非常に重要な領域となっています。NECは、海底ケーブル事業におけるグローバルトップ企業の一社であり、先端光通信技術による差異化とアジア・太平洋を中心としたフットプリントを強みにして、継続的な開発投資と生産能力の充実を図り、事業機会を取り込んでいきます。



■ 衛星間光通信の取り組み

宇宙航空研究開発機構(JAXA)とNECは、先進レーダ衛星「だいち4号」と約40,000km離れた静止軌道上の衛星との間で、光衛星間通信システムを利用した世界最速の光通信を行い、静止衛星経由で観測データを地上局へ伝送することに初めて成功しました。また、NECは、宇宙戦略基金の採択および補助金交付決定を受けて、光通信衛星コンステレーション構築に向けた技術開発ならびに事業化への取り組みを強化しています。これまで蓄積してきた高い技術力により、公共・民間のより広い用途で社会課題の解決に貢献していきます。

